

第6回ビジネス講座

「事業者から見た生活交通路線の維持確保について」概要

日時：平成30年3月7日（水）16:00～17:30
会場：横浜第2合同庁舎 第一共用会議室
講師：永山輝彦氏【神奈川中央交通株式会社 運輸営業部長】
参加者：67名

【講演】

第6回ビジネス講座では、「事業者から見た生活交通路線の維持確保について」と題し、路線バス、コミバス、タクシーなどの事業内容や、連節バス、デマンドバスなど新たな公共交通の取り組み、自治体との連携事例などご講演いただきました。

講演内では、安全に対する取り組み内容や乗務員の教育、また乗務員確保に向けて免許の所得を事業者が負担する養成制度を導入、さらに女性や外国人の採用拡大などを今後の課題として取り組み内容、また近い将来に向けて自動運転普及への対応など多岐にわたるご講演をしていただきました。



※ご講演いただいた神奈川中央交通株式会社 永山運輸営業部長（左）

【トークセッション】

講演後は永山部長と関東運輸局交通政策部 鳥居交通企画課長によるトークセッションを行いました。

トークセッションでは、入社した動機、業務の上で楽しかったことや苦勞したお話や、赤字路線の維持確保への取り組みなどを会社としての立場と地域公共交通マイスターでの立場と個人でのご意見も頂き貴重なお話を頂きました。

生活路線の維持確保など社会的役割負担も多い中、今後の取り組みに期待します。



（左）関東運輸局交通政策部 鳥居交通企画課長
（右）神奈川中央交通株式会社 永山運輸営業部長

【参加者感想】

- ・地域住民と協力して取り組むことの重要性を感じた。
- ・今後の自動運転への移行などに対するバス事業者の考え方は興味深かった、交通施策に織り込んで考えることが出来る。
- ・バス事業者の方が求められている事や考えている事がわかり大変勉強になった。
- ・公共交通の重要性を再認識しました。
- ・乗務員不足は各事業者とも大きな課題であることをあらためて認識した。
- ・事業者としては喫緊の課題であります乗務員不足に直面する中で、今後どのように事業路線を維持すべきか非常に示唆に富むお話をありがとうございました。
- ・路線維持の尽力に敬意を表します、地域交通サポート事業が多くの地域に広がれば良いですね。
- ・地域公共交通においてバス事業は大変重要であると感じますので今後頑張ってくださいたいです。